

平成28年(2016年)4月14日(木曜日)

湧水と地質テーマ

増島氏(東部支部長)が講演

三島

三島駅南口の整備をに^二した講演会を市民
考える市民の会は12文化会館で開いた。県
日夜、三島市内の湧き 地学会の増島淳東部支
水と地質構造をテーマ 部長が市内の溶岩地形



三島の地形や湧き水について解説する増島支部長
＝三島市民文化会館

や湧き水の仕組みを解
説した。約30人が聴講
した。

増島支部長は楽寿園
や白滝公園で確認でき
る溶岩は約1万〜1・
7万年前に富士山から
流れ出たものと説明。
ハワイのキラウエア火
山と比較した写真を示
しながら、当時のよ

うに溶岩が流れたかを
学術的に示した。
湧き水の仕組みにも

触れ、「何十回、何百
回と溶岩が流れ、その
数だけ溶岩が積み重な
り、今の地形になった。
その隙間から富士山の
雪解け水や御殿場など
上流域の雨がしみ出て
いる」と解説した。

質疑応答では、市内
で大規模開発が行われ
た場合の地下水への影
響について質問があつ

た。増島支部長は「水
の量が減ることはない
だろうが、水の出口は
変わるかもしれない。
ただ、どこにいくかは
どんな学者にも分から
ない」と話した。